

# 多言語・多文化教育研究センター 平成 30 年度実績

## (1) 社会貢献事業

1. 言語文化サポーター — p. 1
2. 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」事業 — p. 8
3. 児童相談所等との連携事業の推進 — p. 10
4. 多文化共生人材養成講座の実施 — p. 10

## (2) その他の多文化共生に関わる事業

1. 「外国につながる子どもたちのための教材」(5 言語) の公開 — p. 11
2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業の調整 — p. 12

## (3) 広報活動

1. ウェブサイト運営 — p. 14
2. メールマガジン発行 — p. 15
3. 名義後援 — p. 14
4. その他 — p. 15

## (4) センター運営 — p. 16

## (1) 社会貢献事業

### 1. 言語文化サポーター

#### <計画>

平成 28 年 7 月 1 日に、「コミュニティ通訳制度」と「言語ボランティア制度」を統合し、「言語文化サポーター」として新たに事業を開始した。

本学卒業生、大学院生（正規留学生を含む）、教職員等を言語文化サポーターとして登録し、在日外国人支援や、国際的なイベントなどを紹介する。

#### A. 在日外国人支援

社会貢献活動として、法律相談会や児童相談所などに言語文化サポーターを紹介する。

#### B. 国際イベントへの参加

スポーツや文化に関わる国際的な催しや国際交流・国際理解教育等イベントのスタッフとして言語文化サポーターを紹介する。

<実績>

① 言語文化サポーター登録者（実人数 145 名、言語別延べ人数 232 名）

■言語別（延べ人数 232 名、25 言語）

	言語	延べ人数		
		H29 登録	H30 登録	合計
1	英語	85 名	17 名	102 名
2	中国語	20 名	7 名	27 名
3	スペイン語	19 名	5 名	24 名
4	フランス語	9 名	1 名	10 名
5	ポルトガル語	7 名	3 名	10 名
6	ペルシア語	7 名	0 名	7 名
7	朝鮮語	5 名	2 名	7 名
8	タイ語	4 名	3 名	7 名
9	トルコ語	5 名	1 名	6 名
10	インドネシア語	5 名	0 名	5 名
11	ロシア語	3 名	0 名	3 名
12	マレー語	3 名	0 名	3 名
13	ドイツ語	2 名	1 名	3 名
14	ベトナム語	2 名	1 名	3 名
15	台湾語	2 名	0 名	2 名
16	モンゴル語	2 名	0 名	2 名
17	ダリー語	2 名	0 名	2 名
18	イタリア語	1 名	0 名	1 名
19	タガログ語	1 名	0 名	1 名
20	ヒンディー語	1 名	0 名	1 名
21	ビルマ語	1 名	0 名	1 名
22	ウズベク語	1 名	0 名	1 名
23	ウイグル語	1 名	0 名	1 名
24	アゼルバイジャン語		1 名	1 名
25	ウルドゥー語		1 名	1 名
26	スロベニア語		1 名	1 名
	合計	189 名	43 名	232 名

■所在地別（実人数 145名）

	言語	実人数		
		H29 登録	H30 登録	合計
1	東京都	66名	12名	78名
2	神奈川県	18名	6名	24名
3	埼玉県	14名	1名	15名
4	千葉県	8名	1名	9名
5	茨城県	1名	3名	4名
5	新潟県	1名	1名	2名
6	青森県	0名	1名	1名
7	群馬県	1名	0名	1名
8	山梨県	1名	0名	1名
9	静岡県	1名	0名	1名
10	愛知県	1名	0名	1名
11	京都府	1名	0名	1名
12	大阪府	1名	0名	1名
13	兵庫県	1名	0名	1名
14	広島県	1名	0名	1名
15	福岡県	1名	0名	1名
16	沖縄県	1名	0名	1名
17	イギリス	1名	0名	1名
18	ドイツ	0名	1名	1名
	合計	119名	26名	145名

② 紹介・情報提供 21件（マッチングできなかった案件2件を加えて23件）、紹介人数延べ57名

	団体名	活動日	活動の詳細	紹介人数（延べ）	
1	認定NPO法人難民支援協会 (JAR)	平成30年4月21日 (土)13:00-17:00	シンポジウム「難民保護の国際潮流を改めて知る」	【情報提供のみ】	
2	一般社団法人OCNet（外国人と共に生きる大田市民ネットワーク）	平成30年4月30日 (月・振替休日) 13:00-15:30	勉強会「戸籍と国籍に関する諸問題」	【情報提供のみ】	
3	秩父宮みなとラグビーまつり2018 実行委員会 運営事務局	平成30年6月15日 (金)18:30-21:30、6月17日(日)9:00-18:00	秩父宮みなとラグビーまつり2018	【情報提供のみ】	

4	ラグビーワールドカップ™日本大会公式ボランティアプログラム「NO-SIDE」	平成30年4月23日(月)12:00~7月18日(水)11:59	ラグビーワールドカップ2019™日本大会	【情報提供のみ】	
5	東京地方検察庁 公安部国際担当	平成30年6月28日(木)14:40-18:00	法務省主催 通訳人セミナー 模擬取調通訳実演	中国語1名、 英語1名、 ベトナム語1名	3
6	東京地方検察庁 公安部国際担当	随時	捜査通訳人	アジア・アフリカ系言語、タガログ語、ネパール語、マレー語、イタリア語ほか	
7	童夢	平成30年7月-12月	児童書籍翻訳校正(日→越)	ベトナム語1名	1
8	第二東京弁護士会 国際委員会	平成30年7月19日(木)10:00-16:00	無料法律相談会	中国語2名、 英語1名、 スペイン語1名、	4
9	関東弁護士会連合会	平成30年9月7日(金)13:00-17:00(11:30牛久駅集合)	第17回東日本入国管理センター臨時法律相談会	英語2名 北京語1名 ポルトガル語1名 タガログ語1名、	5
10	東京三弁護士会	随時	当番弁護士・法律相談の通訳人	【情報提供のみ】	
11	東京都国際交流委員会	平成30年9月29日(土)12:00-17:00	無料法律相談会	中国語/台湾語3名 英語1名 タイ語1名 ドイツ語1名 スペイン語1名 タガログ語1名	8
12	特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会	平成30年10月11日(木)10:00-16:00	結核に関する医療通訳(有償ボランティア)選考会/研修	【情報提供のみ】	
13	特定非営利活動法人キッズファン	平成30年10月14日(日)11:00-17:00	第9回子どものためのジャズコンサート	【情報提供のみ】 英語2名 中国語1名 スペイン語1名	4

14	第二東京弁護士会 国際委員会	平成 30 年 10 月 18 日 (木)10:00-16:00	東京入国管理局無料法律相談会	中国語 2 名、 英語 1 名、 スペイン語 1 名、 タガログ語 1 名	5
15	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	平成 30 年 12 月上旬 (募集締切)	東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ボランティア募集	【情報提供のみ】	
16	公益財団法人品川区国際友好協会	平成 31 年 2 月 3 日 (日)12:00-17:00	外国人のための無料専門家相談会	英語 2 名、 中国語 3 名、 スペイン語 1 名 フランス語 1 名 ベトナム語 1 名、	8
17	第二東京弁護士会 国際委員会	平成 31 年 2 月 7 日 (木)10:00-16:00	入国管理局無料法律相談会	英語 1 名 中国語 2 名 スペイン語 1 名 タガログ語 1 名	5
18	関東弁護士会連合会	2019/2/15(金)13:00-17:00(11:30 牛久駅集合)	第 18 回東日本入国管理センター臨時法律相談会	英語 2 名 タガログ語 1 名 トルコ語 1 名	4
19	府中市	平成 31 年 2 月 15 日 (金) (提出締切)	グルメガイド翻訳(日→英)	英語 9 名	9
20	関東弁護士会連合会	平成 31 年 5 月 18 日 (土)13:00-17:00	外国人のための電話無料法律相談会	ポルトガル語 1 名	1
21	ショートショートアジア実行委員会	平成 31 年 5 月中旬～6 月中旬	「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2019」ボランティア募集	【情報提供のみ】	
					57

※情報提供のみの事業は、主催者に直接申し込みをするため、参加人数は不明。

■言語別紹介人数（言語 実人数 33名、延べ人数 57名）

	言語	人数（実人数）	人数（延べ人数）
1	英語	13名	22名
2	中国語	9名	15名
3	スペイン語	3名	6名
4	ポルトガル語	2名	2名
5	タガログ語	1名	5名
6	ベトナム語	1名	3名
7	フランス語	1名	1名
8	ドイツ語	1名	1名
9	トルコ語	1名	1名
10	タイ語	1名	1名
	合計	33名	57名

③ 言語文化サポーター向けの研修等を3回開催し、計25名（延べ人数）が参加※

内容	会場	日時	参加者	内容
東京地方検察庁 見学及び裁判傍 聴	東京地方検察 庁、東京地方裁 判所	平成30年 5月25日 (金) 13:00- 17:00	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京地方検察庁において、取調室の見学、取調べのイメージ映像視聴</li> <li>・東京地方裁判所において裁判傍聴</li> <li>・検察官との質疑応答、法務史料展示室見学</li> </ul>
多文化共生研修	東京外国語大学 アゴラ・グロー バル3階プロジ ェクトスペース	平成30年 11月10 日(土) 13:00- 14:30	5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国出身の介護人材受け入れと現状の課題について」講義 (講師：駒沢大学文学部 土田久美子講師) (講評：東京外国語大学大学院総合国際学研究院 内藤稔講師)</li> </ul>
通訳実践研修	東京外国語大学 研究講義棟 204 教室	平成31年 2月9日 (土) 12:30- 15:30	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通訳技法に関する講義</li> <li>・通訳演習の実践（リテンション、リプロダクション、逐次通訳など）</li> <li>・逐次通訳ロールプレイ</li> <li>・グループによる通訳演習 (講師：通訳者・言語文化サポーター 田中健一氏) (講評：東京外国語大学大学院総合国際学研究院 内藤稔講師)</li> </ul>

※言語文化サポーター登録者の参加者数のみ集計



東京地方検察庁見学及び裁判傍聴



通訳実践研修

④ 東京外国語大学主催の研修等に、計4名が参加

(研修全体の参加者数ではなく、言語文化サポーター登録者で参加した人のみの集計)

	会場	日時	参加者
東京外国語大学ボランティアスペース VOLAS 主催 「2020 大会に向けたボランティアセミナー」	東京外国語大学 研究講義棟 114 教室	平成 30 年 9 月 18 日 (月) 19 日 (月)・20 日 (月) 10:00-17:00 (3 日間)	4 名

⑤ 言語文化サポーターを対象に、現在の登録情報や、募集情報などを掲載したメールマガジンを発行 (原則、土日祝日を除く月末)

	発行号	発行日	発行数 (登録者数)
1	No.22	平成 30 年 4 月 27 日 (金)	123 名
2	No.23	平成 30 年 5 月 31 日 (木)	129 名
3	No.24	平成 30 年 6 月 29 日 (金)	130 名
4	No.25	平成 30 年 7 月 31 日 (火)	131 名
5	No.26	平成 30 年 8 月 31 日 (金)	131 名
6	No.27	平成 30 年 9 月 28 日 (金)	134 名
7	No.28	平成 30 年 10 月 31 日 (水)	135 名
8	No.29	平成 30 年 11 月 30 日 (金)	137 名
9	No.30	平成 30 年 12 月 28 日 (金)	139 名
10	No.31	平成 31 年 1 月 31 日 (木)	139 名
11	No.32	平成 31 年 2 月 28 日 (木)	143 名
12	No.33	平成 31 年 3 月 29 日 (金)	145 名

## 2. 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」事業

### <計画>

DLA の地域での普及を図るため、教材を作成して公開・配布するとともに、日本語指導者に教育の現場で DLA を使用してもらい、フィードバックを得て本アセスメントの改善を試みる。本学学部・大学院等における DLA 学習授業を実施する。また平成 29 年度に養成した DLA の使用を教授できる指導者を活用して、DLA に関する研修を実施する。

### <実績>

①昨年度開催の「DLA 講師育成研修」に参加した指導者による研修『DLA 実践普及活動プログラム』を実施した。研修はそれぞれ実践者による企画に基づいて実行され、愛知県 (2 件)・兵庫県、沖縄県の 4 会場にて開催、計 118 名が参加した。

	研修目的	実践者	日時	会場	参加者	訪問者
愛知 (豊橋)	DLA 概要の理解 と有効性の共有	中学校教員	平成 30 年 7 月 23 日 (月)14:00-17:00	豊橋市教育会 館	61 名	木村
兵庫 (神戸)	DLA 実施方法及 び評価方法のブ ラッシュアップ	こうべ子ども にこにこ会 日本語講師	平成 30 年 7 月 30 日 (月)13:00-17:00	こうべ校内 JSL 研究会員 自宅	6 名	武田
愛知 (一宮)	DLA 教材の理解 と実施の促進	語学指導教師	平成 30 年 8 月 28 日 (火)10:30-12:00	稲沢市立国分 小学校	5 名	木村
沖縄	DLA の内容理解 と活用の仕方	越来小学校 教頭	平成 30 年 11 月 15 日 (木)14:00-16:45	沖縄県立中頭 教育事務所	46 名	伊東

② 『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA) <聴く>』で使用する聴解用映像の修正版をホームページで公開するとともに、DVD を希望者に配布した。

聴解用映像の変更に合わせて、DLA 本冊のスク립トも修正版を作成されており、文部科学省ウェブサイト (総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課) への掲載を依頼した。なお、配布業務に関しては平成 31 年 3 月 1 日をもって文部科学省へ移行した。

- 【A1. えんそく】 <https://www.youtube.com/watch?v=YhgNPqcLquc&feature=youtu.be>  
 【A2. うんどうかい】 <https://www.youtube.com/watch?v=TEjnFJHEp1g&feature=youtu.be>  
 【A3. 工場見学】 [https://www.youtube.com/watch?v=C\\_pMQi0wdd4&feature=youtu.be](https://www.youtube.com/watch?v=C_pMQi0wdd4&feature=youtu.be)



- 【B4. えんそくのおしらせ】 <https://www.youtube.com/watch?v=aDsdZhIGC2Y&feature=youtu.be>
- 【B5. トマトのさいばい】 <https://www.youtube.com/watch?v=7UglVUhTICa&feature=youtu.be>
- 【B6. ごみのゆくえ】 <https://www.youtube.com/watch?v=qYfVhHxnTfA&feature=youtu.be>
- 【B7. エネルギー】 <https://www.youtube.com/watch?v=k2YvTGW7kTA&feature=youtu.be>
- 【B8. 地震】 <https://www.youtube.com/watch?v=jBJARVjh1FA&feature=youtu.be>

③ 「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」別冊を、教育委員会や日本語指導員等の希望者に配布した (文部科学省初等中等教育局国際教育課日本語指導係からの依頼による)。なお、配布業務に関しては平成 31 年 3 月 1 日をもって文部科学省へ移行した。

④ 平成 28 年度に作成した「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント (DLA)」の使い方映像マニュアルをホームページで公開するとともに、DVD を希望者に配布した。

【1 『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』概要】

<https://www.youtube.com/watch?v=f8QChp2FdLM&feature=youtu.be>

【2 はじめの一步】 <https://www.youtube.com/watch?v=0fQAv2YWSCU>

【3 話す】 [https://www.youtube.com/watch?v=CT1B\\_ZQDFw&t=6s](https://www.youtube.com/watch?v=CT1B_ZQDFw&t=6s)

【4 書く】 <https://www.youtube.com/watch?v=4YFMiUW86hY&t=2s>

【5 読む】 <https://www.youtube.com/watch?v=LuKBRft9f0s>

【6 聴く】 <https://www.youtube.com/watch?v=B4DWDLyYHn0&t=35s>

⑤ 本学学部のリレー講義「日本語と日本語教育の諸相」において、「外国人児童生徒の学習支援：対話型アセスメント DLA」の授業を実施した。また、修士論文指導の一環として、博士前期課程在学中の学生を三重県教育委員会主催の「外国人児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修」に参加させ、特に DLA 「書く」の実施方法について学ぶ機会とした。

### 3. 児童相談所等との連携事業の推進

#### <計画>

東京都内の児童相談所等を含む、首都圏の児童相談関連機関と連携し、言語文化サポーターを対象に、通訳の紹介および通訳に対する研修を実施する。

#### <実績>

- ・研修実施実現のための事前調査を目的として、平成30年10月30日（火）に東京北児童相談所を訪問した。
- ・児童相談所等における通訳の依頼・問合せは数件あったものの、言語文化サポーターの紹介実績はなし。

### 4. 多文化共生人材養成講座の実施

#### <計画>

多文化共生人材を養成するために、自治体や地域社会で活動する団体、企業の人事関係者などを対象とし、共生のための体制づくりを担う人材向けの講座および研修を実施することによって、学び直しの場を提供する。

前年度実施した、共生のための体制づくりを担う人材向け基礎講座および研修を実施するとともに、フィードバックを得て養成講座の内容の拡充を図る。

具体的には、言語文化サポーターを対象とした研修を実施し、また言語文化サポーターも含む一般の人々を対象にした多文化共生人材講座を開講する。

#### <実績>

- ・「東京地方検察庁見学及び裁判傍聴」を、平成30年5月25日（火）に開催し、10名が参加した。（p.6参照）
- ・「多文化共生研修」を、平成30年11月10日（土）に開催し、延べ14名が参加した。（p.6参照）
- ・「DLA実践普及活動プログラム」を、平成30年7月23日（月）・30日（月）・8月28日（月）・11月15日（木）に全国4会場にて開催し、計118名が参加した。（p.8参照）
- ・「通訳人を介した模擬裁判（外語祭イベント）」を、平成30年11月25日（日）に開催した。（p.12-13参照）
- ・「通訳実践研修」を、平成31年2月9日（土）に開催し、延べ14名が参加した。（p.6参照）

## (2) その他の多文化共生に関わる事業

### 1. 「外国につながる子どもたちのための教材」(5言語)の公開

#### <計画>

日本語を学ぶ子どもを対象にした漢字や算数の教材をウェブサイトで公開する。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/social.html>

#### <実績>

- 教材ホームページ訪問数 122,941件

- ① ポルトガル語版 在日ブラジル人児童のための教材(漢字・算数)
- ② タガログ語/英語版 在日フィリピン人児童のための教材(漢字・算数)
- ③ スペイン語版 南米スペイン語圏出身児童のための教材(漢字・算数)
- ④ ベトナム語版 ベトナム出身児童のための教材(漢字)
- ⑤ タイ語版 在日タイ語圏児童のための教材(漢字)
- ⑥ ポルトガル語版 在日ブラジル人のための自習用漢字教材

	①	②	③	④	⑤	⑥	合計
4月	1,787	1,117	1,306	752	2,477	1,470	8,909
5月	1,904	1,371	2,960	539	4,722	1,319	12,815
6月	1,991	1,597	1,353	502	4,308	1,374	11,125
7月	1,827	1,208	1,160	442	4,203	1,350	10,190
8月	1,530	960	986	435	3,940	1,256	9,107
9月	1,875	1,457	1,015	774	4,150	1,218	10,489
10月	1,869	1,490	942	540	4,198	1,183	10,222
11月	2,831	1,459	920	691	3,642	1,162	10,705
12月	1,938	1,064	761	488	3,040	1,182	8,473
1月	2,062	1,211	880	1,321	3,444	1,451	10,369
2月	2,091	1,343	1,037	708	3,111	1,722	10,012
3月	2,262	1,277	1,225	621	3,573	1,567	10,525
	23,967	15,554	14,545	7,813	44,808	16,254	<b>122,941</b>

※ 京都大学が運営している言語グリッドが提供する「多言語掲示板」のウェブページに「外国につながる子どもたちのための教材開発」ページが掲載されている。

[http://langrid.org/tools/tufs/?ml\\_lang=ja](http://langrid.org/tools/tufs/?ml_lang=ja)

(運営：2007年7月より京都大学大学院社会情報学専攻、2017年11月より言語グリッドアソシエーション)

## 2. 外部機関と大学との多文化共生に関わる連携事業の調整

### <計画>

外部機関が大学と連携して実施する多文化共生に関わる事業について、大学内での調整を行う。

### <実績>

- ・東京地方検察庁とセンターとは平成30年4月18日付で連携・協力をする旨の覚書を締結し、以下の事業を実施した。

① 東京地方検察庁と連携して、「東京地方検察庁見学及び裁判傍聴」を、平成30年5月25日（金）に開催し、10名が参加した。（p.6参照）

② 東京地方検察庁と連携して、「通訳人を介した模擬裁判」を、平成30年11月25日（日）に開催した。

○日時：平成30年11月25日（日） 13:00-15:45

○会場：東京外国語大学 府中キャンパス 研究講義棟 227 教室

○進行：

13:30-13:35 挨拶・注意事項

13:35-13:40 概要説明

13:40-15:00 模擬裁判

・ 13:40-13:50 冒頭手続（起訴状朗読など）

・ 13:50-14:10 被害者（日本語）の証人尋問

・ 14:10-14:25 目撃者（ベトナム語）の証人尋問

・ 14:25-14:45 被告人（英語）に対する質問

・ 14:45- 補足説明など

### 【休憩】

15:15-15:30 質疑応答

15:30-15:45 講評

○事件の内容：

### 【飲食店における客同士の傷害事件（けんか）】

外国人の客（被告人）が、居酒屋にて、外国人の店員（目撃者）に対する日本人客（被害者）の態度に腹を立て、その日本人客の顔面を殴ってけがをさせたとして起訴されたというもの。被告人は「被害者を意図して殴ってはいない、被害者が先に手を出しかけたためだった」と供述し起訴事実を否認、さらに正当防衛として無罪を主張している。

○配役：

通訳人役（英語）：本学大学院卒業生・言語文化サポーター

被告人役（英語母語話者）：本学職員（卒業生）・言語文化サポーター

通訳人役（ベトナム語）：本学大学院在校生・言語文化サポーター

証人役（ベトナム語母語話者）：本学大学院在校生・言語文化サポーター  
裁判長役・検察官役・弁護人役：東京地方検察庁検察官  
被害者役：東京地方検察庁検察事務官  
模擬裁判進行役：東京地方検察庁検察官  
司会：多言語・多文化教育研究センター 武田 千香 センター長  
講評：多言語・多文化教育研究センター 内藤 稔 副センター長



③ 東京地方検察庁と連携して、「東京地方検察庁見学及び裁判傍聴（学生向け）」を、平成 30 年 12 月 12 日（水）に開催し、本学学部生 8 名が参加した。

・府中市が発行する小冊子「府中グルメガイド」（発行：府中市・府中市 2020 等実行委員会）の英語翻訳を受託、言語文化サポーター計 9 名に翻訳業務を依頼した。（p. 6 参照）

④ また、東京地方検察庁を介した依頼にて、平成 30 年 6 月 28 日（月）に開催された法務省主催の「平成 30 年度通訳人セミナー」における「熟練捜査通訳人による実演」での通訳人役として言語文化サポーターを紹介、通訳者 3 名（英語・中国語・ベトナム語）が参加した。（p. 3-4 参照）

### (3) 広報活動

#### 1. ウェブサイト運営

##### <計画>

ウェブサイトを運営し、センターに関する基本情報や、活動紹介や講座の受講案内などを発信する。

<http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/cemmer/>

##### <実績>

- ・ブログ記事 計 33 件を掲載した。
- ・ウェブサイトのリニューアルを実施した（3月29日（金）更新）。

#### 2. メールマガジン発行

##### <計画>

センターの最新情報や、多言語・多文化に関する情報を、団体・個人の希望者に発信する。

##### <実績>

- ・毎月、原則第2水曜日に発行 発行数 2016 通（平成 31 年 3 月）

	発行号	発行日
1	No.97	平成 30 年 4 月 11 日（水）
2	No.98	平成 30 年 5 月 10 日（木）
3	No.99	平成 30 年 6 月 13 日（水）
4	No.100	平成 30 年 7 月 11 日（水）
5	No.101	平成 30 年 8 月 9 日（木）
6	No.102	平成 30 年 9 月 12 日（火）
7	No.103	平成 30 年 10 月 11 日（木）
8	No.104	平成 30 年 11 月 8 日（木）
9	No.105	平成 30 年 12 月 20 日（木）
10	No.106	平成 31 年 1 月 16 日（水）
11	No.107	平成 31 年 2 月 20 日（水）
12	No.108	平成 31 年 3 月 20 日（水）

### 3. 名義後援

#### <計画>

他団体が実施する多言語・多文化に関するシンポジウム、講演会、イベント等の後援を行う。

#### <実績>

- ・平成30年度の名義後援実績はなし

### 4. その他

センターが実施した事業について、新聞等に記事が掲載された。

#### <実績>

○司法通訳養成講座に関する新聞等への掲載：

- ・2018年11月23日（金） 読売新聞(多磨版)  
「司法通訳養成 来春に開講 東京外大と青学大 外国人増加に対応」
- ・2018年11月26日（月） 東京新聞  
「担い手育成に大学連携 資格創設し質確保を」
- ・2019年1月7日（月） 日経新聞  
「法廷通訳講座 4月開講 都内2大学 3言語で計20人育成」

#### (4) センター運営

センター長、副センター長、本学の教職員のうちからセンター長が指名した運営委員で組織する運営委員会を置き、センター会議を開催して、センターの業務を企画、実施及び推進する。

##### 【運営委員会メンバー】

武田 千香	センター長
内藤 稔	副センター長
青山 亨	運営委員
伊東 祐郎	運営委員
木村 晴茂	運営委員
伊藤 結花	多文化共生コーディネーター (5月迄)
礪島 五月	センター事務局 教務補佐 (6月以降)

##### <実績>

- ・センター会議の開催

1	平成 30 年 4 月 12 日 (木)
2	平成 30 年 5 月 9 日 (水)
3	平成 30 年 6 月 6 日 (水)
4	平成 30 年 7 月 4 日 (水)
5	平成 30 年 9 月 10 日 (水)
6	平成 30 年 10 月 17 日 (水)
7	平成 30 年 11 月 14 日 (水)
8	平成 31 年 12 月 19 日 (水)
9	平成 31 年 1 月 24 日 (水)
10	平成 31 年 2 月 13 日 (水)
11	平成 31 年 3 月 15 日 (水)